

〈スイング〉 頭一つリード

大会 2 日目 (5 月 4 日)。ひんやりとした西南西の風が 20 ノット近く吹いています。初日から一日強風でレースはキャンセルとなり、うずうずしている選手達。朝から、続々と出艇していきます。そう、ゲートの中で鼻息荒くスタートを待つ競走馬のように。

予定を 30 分早め、10 時 30 分、いよいよ第 1 レースがスタート。上下 1.8 マイルの 4 レグコースを、約 1 時間でフィニッシュします。

そして 12 時 10 分には第 2 レースがスタートと、レースはサクサク進行していきます。

これを、みごと 1 位-1 位とまとめたのが、5 艇中最も新しいデザインの〈スイング〉。「ボートスピードが良かった」という鈴木啓介オーナーですが、自ら舵を持ち、第 1 レースから果敢にスタートを決めます。

ハンディキャップ的には、他の 4 艇が 1.253 から 1.257 までに収まっているところ、〈スイング〉は 1.268 と大きくなっています。

これは 1 時間で 40 秒くらいのハンデとなります。距離にすると 7 ノットで走って 140m くらいになりますか。結構な差です。で、それ以上に速いところを見せているということです。

第 1 レースで 2 位に入ったのは、今年のジャパンカップを征した〈ブラック〉。ヘルムスマンの荒川海彦はタクティシャンにまわり、今シーズンは樹神弘郎オーナー自ら舵を持つての参戦です。

〈ブラック〉は 2013 年のデザイン。一方、第 2 レースで 2 位に入った〈エスプリ〉は 2014 年デザイン。IRC 証書を見ると、この 2 艇は性向がなんとなく似ています。

他の 3 艇と比べ、ハルの長さは短いのですが、水線長は短くない。〈エスプリ〉などは 5 艇中 2 番目に長いくらい。

実際に見ても、両艇のバウは切り立っています。オーバーハングの少ない船体は幅が狭いせいか総重量は軽く、でもバルブは重い。

〈ブラック〉の方がセールエリアが弱冠大きいせいか、TPP は 1.257 と 1.253 と差がでています。ところが、2017 年の証書を見ると、両艇ともどこも変えていないのに、共に 1.254。つまり、〈ブラック〉は 0.003 増えているのに、〈エスプリ〉の方は、0.001 ですが減っていると。レーティングオフィスはどう解釈しているのか、興味深いところです。

と、こうして艇の違いを楽しむのも、このクラスの面白いところです。

〈ブラック〉は、2 レース目を 3 位に。これも一時は最下位くらいまで落ち込んだところからの盛り返しで、手応えは十分のもよう。

昨年のジャパンカップでは、微風のディスタンスレースを制してカップを手中に収めた同チーム。軽量な艇は軽風向きでもあり、さあ、明日のディスタンスレースでどうするか。

一方の〈エスプリ〉も、「波があって走らせにくかった」と言いながらも3位-2位と固めており、振れまくる難しい海面で力を発揮しています。

※ ※

初日がまるまるつぶれてしまったので、この日最大4レースを予定していましたが、ここでいきなり西の風が30ノットまで吹き上がり、2日めは2レースで終了。

〈スイング〉が頭一つ抜き出した感じで迎える明日。大会3日め（5月5日）は、ディスタンス・レースです。